

平成19年度当初予算

市議会3月定例会で平成19年度当初予算が議決されました。
その概要を市長の所信表明とあわせて紹介します。

環境首都へのレベルアップの年に！
安全・安心に暮らすことができる
「夢のあるまちづくり」に向かって

予算の規模

● **一般会計** 前年度比6.9%増の565億円余、過去最高の予算規模となりました。前年度から継続している事業に加えて、勢井前川内水対策安祥閣調整池建設事業や（仮称）中部福祉センター建設などの新たな大型事業が集中するためです。

● **特別会計・水道事業会計** 事業を終えた新幹線と換地処分を迎える作野の各土地区画整理事業が大幅に減額する一方、医療費や介護サービスの増加に伴う国民健康保険と介護保険事業の増額により前年度比41%増となりました。水道事業は前年度比6.5%増となりました。

一般会計歳入の概要

● **市税** 個人市民税は税源移譲と定率減税の廃止により概ね20億円の増額、法人市民税は景気の回復により前年度比20%を超

える増収、固定資産税も堅調な増収を見込んでいます。市税全体では過去最高額の368億円余、前年度比12%増となりました。

● **その他** 国県支出金は、税源移譲による削減の影響はありますが、大型事業の集中により前年度比11.8%増となっています。一方で市債は、大型事業が集中するにもかかわらず前年度比3.4%減とし、将来の財政負担の抑制を図ることとしました。

一般会計歳出の概要

※主な事業は7ページを参照。

● **環境施策** 環境首都実現に向けてエコネットあんじょうへの事業委託、エコサイクルシティ計画の具体化、ごみ減量化を公募市民・NPOとともに検討

● **防犯・防災施策** スクールガードの育成、安全安心メールの拡充、小中学校体育館の耐震補強、防災コンテナ倉庫の設置

● **福祉・保健医療施策** 高齢者の生活支援ハウスの運営開始、妊婦健康診査事業の拡充

● **教育施策** 教育相談事業の充実、中部学校給食施設整備、地域スポーツ交流会の開催

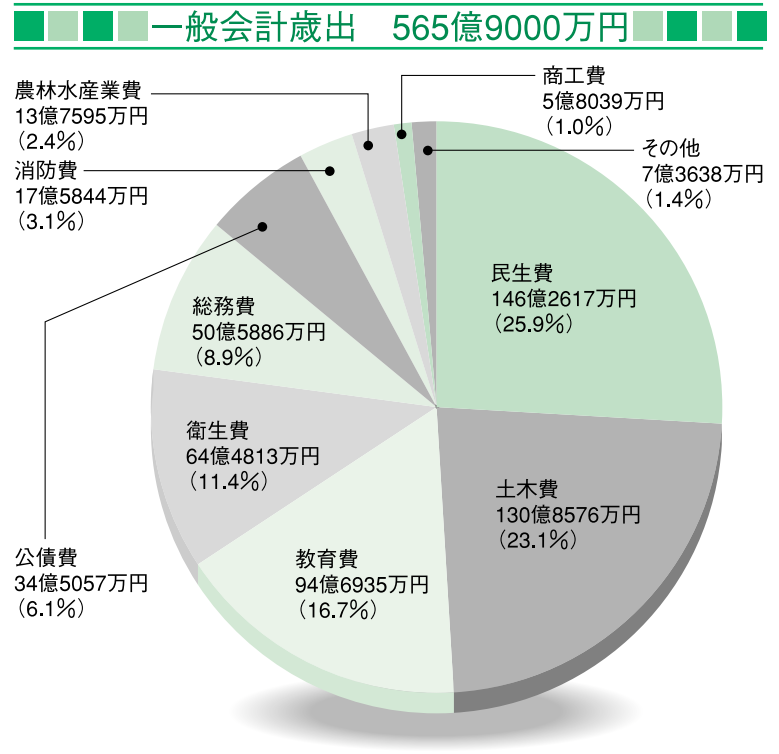
● **市制55周年記念事業** 国際交流事業・七夕まつりの拡充、産業フェスティバル、子どもまつりなどの開催

特別会計359億9800万円（前年度比4.1%増）

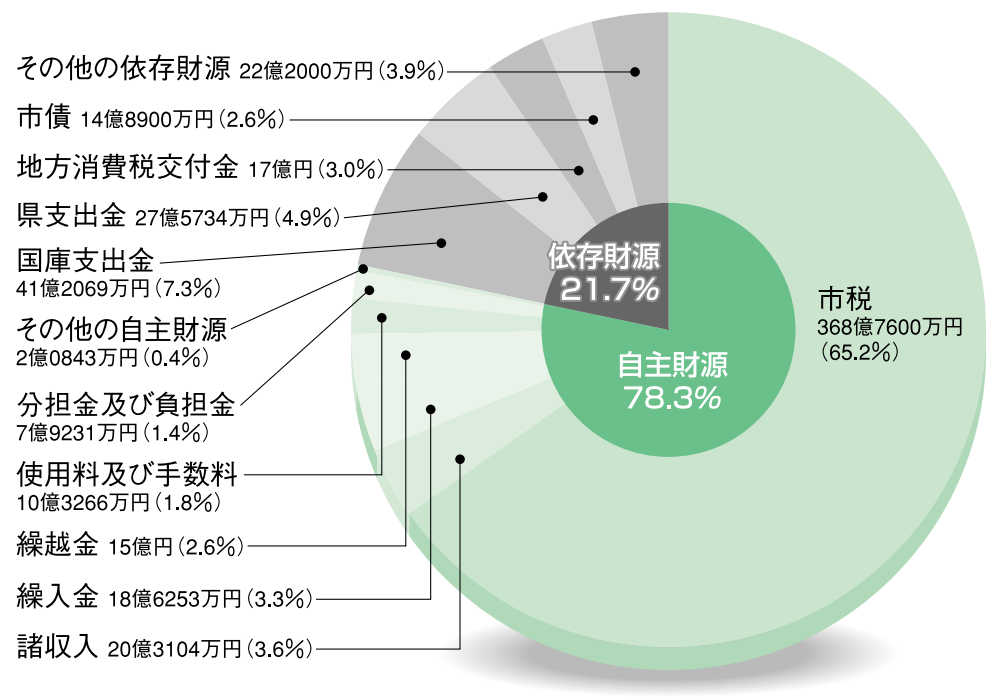
国民健康保険事業	131億0400万円	(+10.8%)
土地取得	500万円	(0%)
有料駐車場事業	2億1200万円	(+27.7%)
下水道事業	48億1300万円	(+0.2%)
老人保健事業	77億3100万円	(-3.2%)
区画整理事業		
安城北部	16億2400万円	(+52.5%)
安城作野	3億円	(-58.9%)
桜井駅周辺特定	20億5000万円	(-3.3%)
農業集落排水事業	5200万円	(-22.4%)
介護保険事業	61億0700万円	(+13.1%)

水道事業会計45億5800万円(前年度比6.5%増)

収益的支出	29億1100万円	(+2.5%)
資本的支出	16億4700万円	(+14.4%)

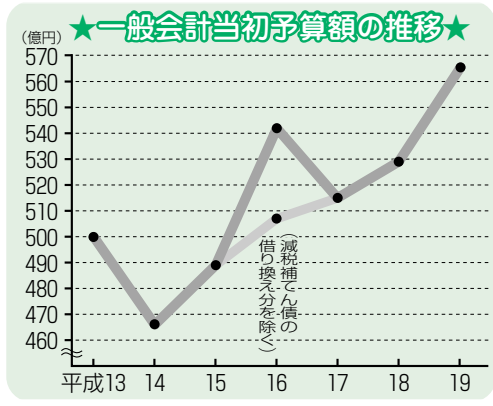


一般会計歳入 565億9000万円



用語解説

- **一般会計** 市の行政の基本的な経費、例えば福祉、教育、土木などに要する経費について、市税などを主な財源として経理する会計
- **特別会計** 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計
- **企業会計** 水道事業のような独立採算による特定の事業を行うために設置する会計
- **自主財源** 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金
- **依存財源** 国・県支出金や市債などのお金
- **市税** 地方税法などの規定に基づき市民の皆さんや市内に事業所を持つ法人などに納めていただく税金
- **繰入金** 特別会計や基金などから一般会計に繰り入れるお金
- **諸収入** 給食費や預金利息などのお金
- **使用料及び手数料** 市の施設や行政サービスを利用する人から、それに要する経費を負担してもらうお金
- **分担金及び負担金** 市が行う事業で特に利益を受ける人から、その受益の程度に応じて負担してもらうお金
- **市債** 利益を受けるであろう将来の市民にも公平に費用を負担してもらうよう、多額の費用が必要な事業を行うときに借りるお金
- **収益的支出** 企業の営業活動に伴い発生する収入(料金収入など)とそれに対応する支出(職員給与費、支払利息、減価償却費など)
- **資本的支出** 経営規模拡大のための施設建設などに要する経費(建設改良費、企業償還金など)とそれに必要な収入(企業債など)



主要事業一覧

第7次総合計画に基づく6つの基本目標に沿って、一般会計の主要事業を抜粋して紹介します。 ※「★」は、新規・臨時事業です。
主要事業の詳細は、市ホームページでご覧いただけます。

安全で循環型社会を築く環境づくり

★庁舎壁面緑化管理事業	700万円
★庁舎照明高効率化事業	1300万円
★安全安心メール配信事業	210万円
★20%ごみ減量協働推進事業	873万円
ごみ減量化推進事業 (生ごみリサイクル)	506万円
★中間処理施設建設事業	1900万円
地球温暖化対策地域協議会事業	400万円
災害対策事業 (小中学校避難所等防災倉庫設置)	1231万円
民間木造耐震診断・改修補助事業	6750万円
★市民会館改修E S C O事業	1000万円
★コンビニ収納事業	925万円
緊急輸送道路配水管整備事業	1億5000万円

健康で安心して暮らせる環境づくり

★障害者就労支援事業	130万円
★後期高齢者医療準備事務	8068万円
★生活支援ハウス運営事業	876万円
(仮)桜井地域複合福祉施設建設事業	12億2710万円
地域福祉センター建設事業	2億1494万円
桜井児童クラブ建設事業	2750万円
安城保育園移転建設事業	2200万円
妊婦健診事業	9370万円

個性と文化を育む環境づくり

小中学校魅力ある学校づくり事業	2000万円
小中学校体育館耐震補強事業	5773万円
桜井小学校移転建設事業	13億5364万円
外国語指導助手活用事業・ポルトガル語通訳活用事業	3620万円
小学校安全管理事業	196万円
図書館資料貸出事業	720万円
市史編さん事業	5828万円
★体育協会N P O法人化支援委託事業	857万円
★市民地域スポーツ交流会開催事業	259万円
南部学校給食施設整備事業	13億2761万円
★中部学校給食施設整備事業	1億円

自然と共生した環境づくり

★エコサイクルシティ計画推進事業	200万円
★エコサイクルシティ計画環境整備事業	750万円
★碧海堀内駅改修事業負担金	1億3160万円
主要道路新設改良事業 (市道榎前高棚線)	2億7910万円
柿田公園線南進道路整備事業 (市道新明東栄線)	7億6127万円
橋りょう新設改良事業((仮称)足取橋)	1億7500万円
電線類地中化事業(市道御幸本赤松線)	1億8000万円
調整池整備事業(安祥閣駐車場調整池)	8300万円
市営大東住宅建設事業	2億3002万円
★都市計画マスタープラン策定事業	940万円
倉西公園整備事業	8700万円
★堀内公園整備事業	4000万円
★矢作川堤防リフレッシュ緑地整備事業	510万円
★緑の基本計画策定事業	500万円
★コミュニティ施設建設補助金事業	1億2000万円
南明治第一土地区画整理事業	1億6622万円
中心市街地交流拠点事業	3132万円
名鉄西尾線碧海桜井駅付近鉄道立体 交差事業	23億7924万円
★北部土地区画整理事業地区内2号緑地 整備事業	3億8400万円

活力にみちた環境づくり

雇用対策定着事業	425万円
★アグリライフ支援事業	510万円
★農地・水・農村環境保全向上活動支援 事業	3420万円
★農地・水・環境保全向上営農活動支援 事業	1355万円
★デンパーク開園10周年記念事業	1億5300万円

市民が主役となる環境づくり

★議会映像インターネット配信事業	78万円
★フレンドシップ継承交付金事業	1750万円
男女共同参画条例作成事業	60万円
市民活動施設整備事業	1860万円
★監査手続協働実施等事業	58万円

神谷市政2期目 所信表明

平成19年度は私の市長就任2期目の初年度です。先の1期目の就任当時は、「安城をかえたい」という民意の信託を受け、従来の行政主導の行財政運営からの脱却をめざし、全身全霊をかけて改革を推進すべく、意欲と情熱をもって市長のいすに座ったことを思い起こします。どの局面でも、情報を積極的に公開し、迅速に改善・改革に取り組んできたことが功を奏し、任期後半には景気の回復を追い風に、各種事業は順調に進行し、私の公約もほぼ予定通り遂行できました。今後、新たな公約の実現に向け、アンテナを張り巡らし

て市民の皆さまの要求に敏感に反応しながら、きめ細かな情報を惜しみなく発信し、気配りと思いやりを忘れずに、着実に一歩一歩「夢のあるまちづくり」をめざして歩んでまいります。さて、わが国の経済は長期停滞のトンネルを抜け出し、民間需要に支えられた緩やかな景気回復が続いています。「元氣な愛知」と称されるこの地域の経済は、総じて拡大基調にあるとされ、常に全国の先陣を切って発展を続けています。そして「活力のある、元氣な安城」は、その愛知県を、さらには日本経済を下支えしていると言っても過言ではありません。この地域の経済や産業の活力を、行政の立場から守り続けることが、日本の発展につながると考え、その重要な使命を強く自覚し、行財政運営を担ってまいります。

また、本市の行財政運営においては、「創意と工夫」による事業のスクラップアンドビルドにより経費の節減を図り、優良企業誘致による自主財源の確保に努め、独自の「歳出・歳入一体改革」に取り組んでおり、常に健全財政を堅持しています。今後も、この好調な景気状況にも気を緩めず、行政改革や職員の意識改革、経常経費の節減な

どの改革を止めずに、真に必要な施策を厳選し推進します。活発な世界経済活動が喜ばしくもある反面、それに起因すると見られる地球環境の世界規模での悪化が、先ごろ、アル・ゴア元アメリカ副大統領の著書と映画「不都合な真実」によって、より現実的で身近なものとして紹介されました。国を挙げての抜本的な環境保護策が急務であると同時に、個人による、環境にやさしく、小さくても確かな行動の積み重ねにより、地球を環境破壊から守ることができ



神谷市長は市議会3月定例会の中で、これから市政を進めていくうえでの基本的な考えを明らかにする「所信表明」を述べました。その概要を紹介します。



市民1人当たりの
一般会計予算額は
322,553円

<主な歳出項目>

民生費(福祉・医療)	83,367円
土木費(都市基盤整備)	74,587円
教育費(教育・文化)	53,974円
衛生費(環境・保健)	36,753円
総務費(一般事務経費)	28,835円
公債費(市債返済金)	19,668円
消防費(消防)	10,023円
農林水産業費(農林水産業)	7,843円
商工費(商工業・観光)	3,308円
議会費(市議会経費)	2,108円

※平成19年3月1日現在の人口17万5444人で算出。



高齢者が健康で明るい生活を送れるよう支援する生活支援ハウス(福益町)



安城北中学校区に建設予定の(仮称)中部福祉センター完成予想図(新田町)



子どもたちの安全・安心のために地域ぐるみの体制づくりをさらに進めます